

株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日 から 12月31日 まで
定時株主総会	毎年3月開催
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
お知らせ	●住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申し出先 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 ●未払配当金の支払い 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ビジネスレポート郵送取り止めのお知らせ

前回発行した「BUSINESSREPORT 第71期決算期」でご案内させていただきましたとおり、地球環境等に配慮した省資源化の取り組みとして、今回よりビジネスレポートの発送を取り止め、当社ホームページ（<https://www.nakanishi-inc.jp/ir/dataroom/#br>）に掲載しました。何卒ご理解いただきますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

BUSINESS REPORT



第72期中間期 2023年1月1日～2023年6月30日

株式会社ナカニシ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

底堅く推移した世界需要を着実に取り込んだ歯科・外科・機工の各事業が増収増益となったほか、円安の進行で収益が大きくなるとともに、2023年上半期の売上高・営業利益・EBITDA・親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも三期連続で過去最高を更新しました。

今年3月、ドイツで開催された世界最大級の歯科展示会「IDS2023」に出展し、世界最高の切削パワーを誇る歯科用ハンドピースの新製品「Ti-Max Z990L」を発表しました。展示会中に当社ブースを訪れた世界中の歯科医師の方々から高く評価されました。国内および欧州で販売開始しており、下半期には米国で販売開始する予定です。各市場で拡販を進め、早期の収益貢献を目指します。

ここ数年、当社の生産活動の大きな支障となっていた部品不足の問題が解消に向かい、また、これまで進めてきた生産増強の施策が効果をあげてきたことで、上半期の生産量は大幅に改善しました。製品納期も正常化した今、従来の納期長期化による顧客離れを防ぐ“守りの営業”から、世界の需要を積極的に取り込む“攻めの営業”に回帰し、さらなる成長の機会を掴んでまいります。

昨年12月に買収した独スピンドルメーカー・イエガー社、今年8月に買収を発表した米デンタルチェアメーカー・DCI社が当社グループに加わり、ナカニシグループとしての総合力は飛躍的に高まっていくものと確信しています。長期ビジョン「VISION2030」の実現と、さらにその先の未来に向けて飛躍するべく、世界に広がるナカニシグループの全従業員がONE TEAMとなって前進し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

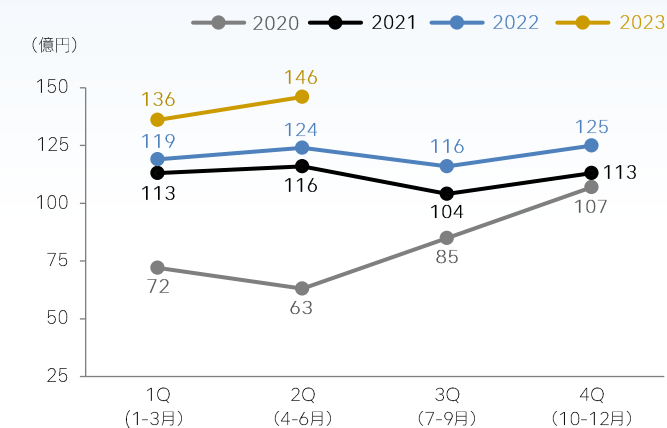
代表取締役社長執行役員
中西 英一



2023年上半期の業績概要

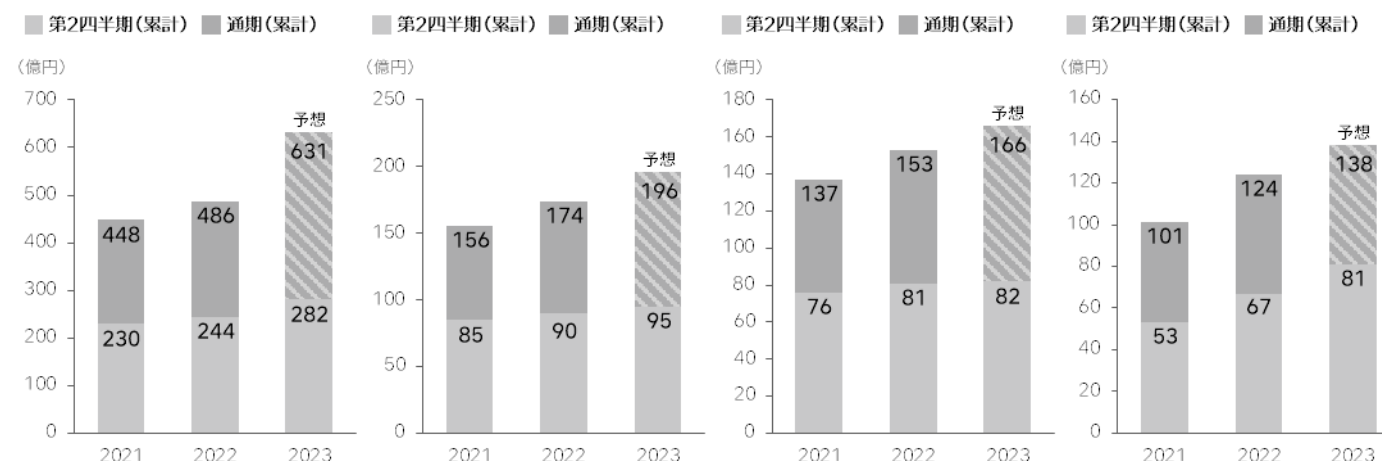
世界の各市場の需要は地域ごとに差異があるものの、概ね堅調に推移しています。北米市場では流通在庫の調整局面が続いたことで減収となりましたが、それ以外の地域では二桁増収となりました。部品不足や生産欠員が解消に向い、生産が順調に推移したことで、歯科・外科・機工のすべての事業で増収となりました。このほか、昨年12月に買収した独イエガー社の新規連結効果や、主要な取引通貨に対する円安の進行等が収益を押し上げました。

四半期売上高の推移



売上高	EBITDA *	営業利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
282億円	95億円	82億円	81億円
前年同期比 +15.5%	前年同期比 +5.7%	前年同期比 +1.4%	前年同期比 +20.0%

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額



歯科事業

Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療等、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ハンドピース
Ti-Max Zシリーズ



インプラントモーター
Surgic Pro2

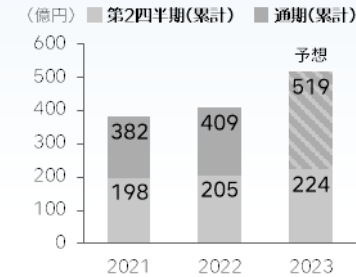


超音波スケーラー
Varios Combi Pro



高圧蒸気滅菌器
iClave mini2

歯科事業売上高の推移



2023年上半期の概況

地域	販売動向 前年同期比	概況
国内	↑	自社ブランド・OEMビジネスともに好調に推移。値上げ実施も受注は堅調
欧州	↑	好調続きだった英・仏の販売減を、独・伊・北欧の販売伸長でカバーして増収
北米	↓	最終顧客への販売は堅調だったものの、販売店の在庫調整局面が続き減収
アジア	↑	中国需要は弱含みだが前年同期比では増収。現地工場から製品出荷を開始
その他	↑	特需が剥落した南米が落ち込んだものの、豪州や中近東の販売増が下支え

外科事業

Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



外科用電動ドリル
Primado2
コントロールユニット



スリムモーター
P200-SMHシリーズ

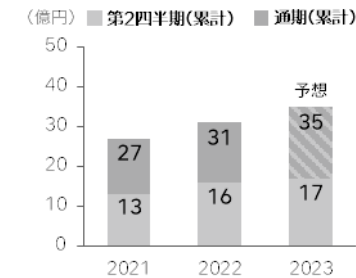


アタッチメント
P300アタッチメント



先端刃具
各種アタッチメントバー

外科事業売上高の推移



2023年上半期の概況

地域	販売動向 前年同期比	概況
国内	↑	生産復調でPrimado2コントロールユニットが伸長。先端刃具も増収に寄与
欧州	↓	先端刃具の販売伸長も、OEMビジネス消失インパクトを補いきれず減収
北米	↓	協業先を通じた販売は堅調に推移したものの、前年同期の特需剥落で減収
アジア	↑	回復期に入ったアジア諸国の需要を着実に獲得した結果、販売が大幅伸長

機工事業

Industrial Business

自動車・航空機・精密機器等、幅広い製造分野の超微細・超精密加工で使用されるスピンドルおよびグラインダーの開発・製造・販売を行っています。



工業用スピンドル
E-4000シリーズ



工業用スピンドル
Air-Speedシリーズ

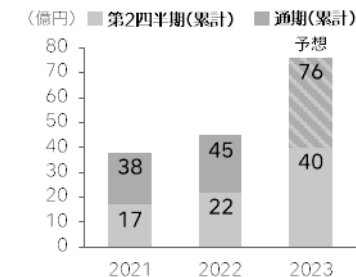


電動ハンドグラインダー
Emax EVolution



超音波研磨機
シーナスZERO

機工事業売上高の推移

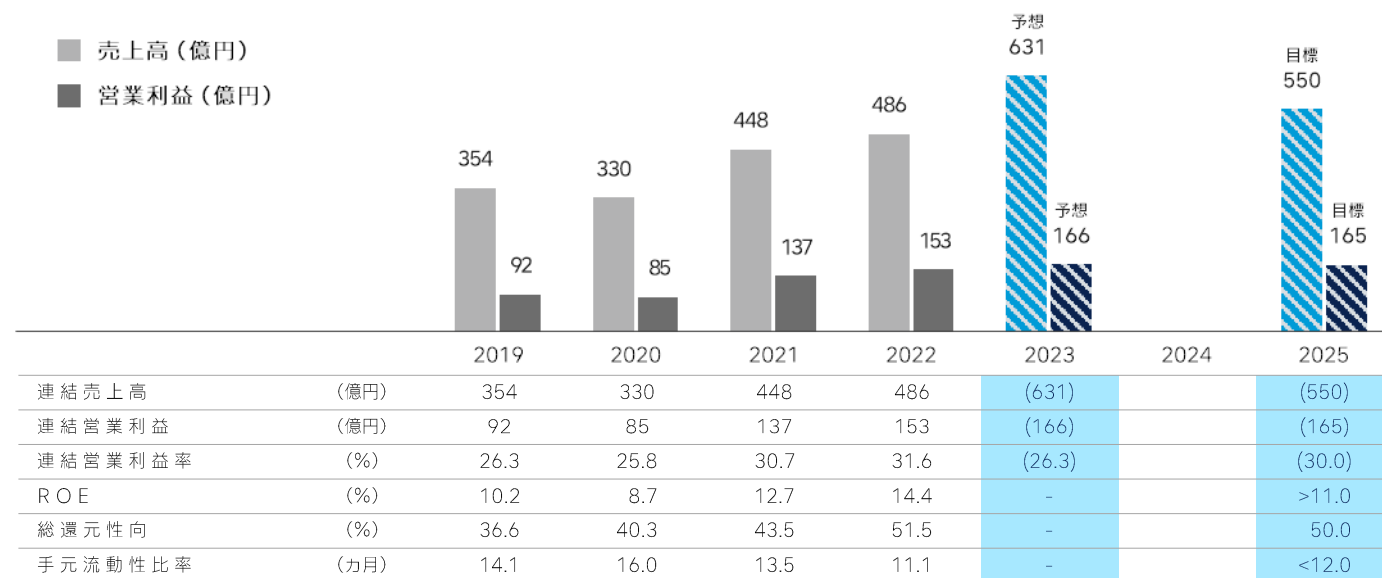
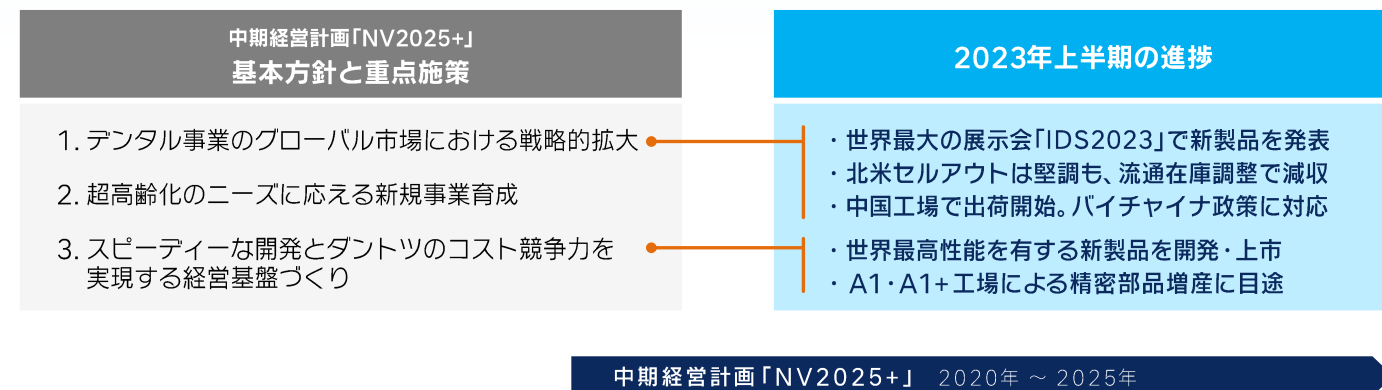


2023年上半期の概況

地域	販売動向 前年同期比	概況
国内	→	設備投資意欲は減退傾向に入るも、前期からの受注案件をこなして販売堅調
欧州	↑	NAKANISHIブランドの販売伸長、イェガー社の新規連結効果で大幅増収
北米	→	現地販売は伸び悩んだものの、円安進行によるかさ上げ効果で売上横ばい
アジア	↑	前年に引き続き大型案件を獲得。主力のスピンドル販売も堅調で、大幅増収

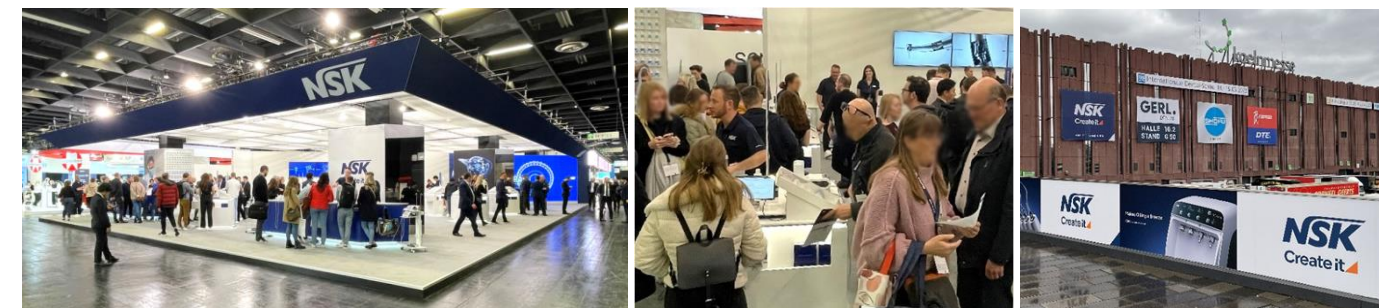
中期経営計画「NV2025+」の進捗状況

コロナ禍という未曾有の危機を好機に変え、当社事業は世界の各市場で急成長を遂げました。旺盛な需要に適切に対応するべく推進してきた生産増強施策が効果をあげ、折からの部品不足問題が解消に向かったことで、当上半期の生産活動は順調に推移しました。生産活動の正常化・増産への転換を受け、世界各市場で積極的な拡販攻勢をとってまいります。



世界最大級の歯科展示会「IDS2023」に出展

3月14日から5日間、ドイツ・ケルンで世界最大級の歯科展示会「IDS2023」が開催されました。世界経済が正常化に向かう中での開催で集客が危ぶまれましたが、会場には世界166カ国から16万人を超える方々が来場し、大盛況となりました。当社は過去最大面積となる450平米のブースをメインエリアに構え、歯科用ハンドピースの展示エリアで新製品「Ti-Max Z990L」を初披露しました。新製品を手にとって試用した歯科医師や流通業者は一律に、その圧倒的な切削パワーに驚くとともに、大変多くの引き合いやご期待の声を頂きました。



新製品： 歯科用ハンドピース「Ti-Max Z990L」



切削力

世界最高峰の44W

安全性

感染防止機構を標準搭載

耐久性

新しいチャック機構&チタンボディ

歯科用ハンドピースの新製品「Ti-Max Z990L」はヘッド内部のローターが圧縮空気を受けて回転する構造を持つエアタービンで、ヘッドの小型化と切削パワー向上を高次元で両立させるべく、メーカー各社が凌ぎを削っています。新製品の切削パワーは従来に比べ30%アップと大幅に向上しました。高い切削力は治療時間の短縮につながり、歯科医師(治療効率化)・患者(負担軽減)の双方に大きなメリットを提供します。既に国内・欧州で販売しており、下半期には北米でも販売開始する予定です。

米国市場における事業展開

北米市場においては、NSKブランドとして強みのある歯科用マイクロモーターやコントラングル（電気モーター式の歯科用ハンドピース）の拡販、デンタルチェアメーカーDCI社との協業、DSOs*や歯科大学など新たな販売チャネルへのアプローチを推し進めてきましたが、今年10月には歯科用ハンドピースの新製品「Ti-Max Z990L」を発売する予定です。北米市場における当社のエアタービンのシェアは競合他社の後塵を拝してきましたが、他社を凌駕するスペックを有する新製品を積極的に拡販し、市場シェア拡大を図ってまいります。



*DSOs … Dental Service Organizationsの略称。多数の歯科医院を傘下におさめる大規模歯科クリニックチェーンで、欧米諸国等で急速に拡大している

米国デンタルチェアメーカー DCI International, LLCを完全子会社化



▲ 契約調印式（中西英一、DCI社長 スペンサー氏） ▲ DCI 本社（米国オレゴン州）



▲ DCI 社が製造・販売するデンタルチェア

当社は全米で第2位のシェアを誇るデンタルチェアメーカー DCI社に2020年10月に初めて出資して以来、パートナーとして信頼関係を深めてきました。市場で大きな競争力を有する当社とDCI社の協業は順調に進展してきており、この上半期からDCI社のデンタルチェアと当社の歯科用ハンドピースのバンドル販売を開始しました。この度の完全子会社化を機にNSK・DCIが真のONE TEAMとなって北米市場でさらなる成長を目指します。

中国市場における事業展開

製造・販売拠点の拡充



市場動向と施策

市場動向	事業戦略
自国品優遇政策（バイ・チャイナ） 大型入札案件の中には対象製品を中国産に限る条項が盛り込まれる事例あり	四川工場から製品出荷を開始 日本国内で生産した精密部品を四川工場を組み立て、「中国産」として現地出荷を開始 現地生産品目のさらなる拡充を目指す
インプラント体の集中購買 インプラント体（人工歯根）の価格下落による手術増加は当社にとって追い風	インプラントモーターを拡販 手術に不可欠となるインプラントモーターの需要を見極めつつ「Surgic Pro」を拡販 強みである高次元の操作性・安全性を訴求
中国メーカーの台頭 日・欧・米メーカーのコピー品づくりを脱却、ナショナルブランドを展開中	高付加価値製品を市場投入 現地の製品ラインアップにハイエンド～ミドルレンジの製品群を追加 NSKブランドとしての性能・品質を訴求

「M1」工場建設プロジェクト



▲ 新工場「M1」の現在の様子。第1期工事区間の基礎工事が進む

当社は、持続的な成長をより確かなものにするべく、中長期的な視点に立ち事業基盤の強化を推進してきました。コロナ禍を機に世界シェアが拡大したことで、従前に比べ販売のベースラインが大きく上昇しました。高まる需要に適確に対応し続けるべく計画前倒しで建設した「A1+」工場は昨年9月に竣工し、部品生産を開始しました。精密部品の増産に道筋がついたことを受け、次の施策として「M1」工場建設に着手しました。部品加工の次工程となる組立・包装工程の能力アップと十分な倉庫スペースの確保を図ります。今年4月に着工した建設工事は順調に進行しています。

建設敷地:	栃木県鹿沼市下日向700（本社敷地内）
延床面積:	約20,000平米
設備投資額:	約85億円
工場機能:	組立工場、部品・完成品倉庫、アフターサービスセンター
竣工時期:	第1期区画 2024年上半期(予定) 第2期区画 2025年上半期(予定)

JPX日経インデックス400 構成銘柄への選定



当社はこの度、株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同算出する株価指数「JPX日経インデックス400」の2023年度（2023年8月31日から2024年8月29日まで）の構成銘柄に選定されました。今後も皆様のご期待にそえるよう、企業価値の向上に努めてまいります。

株主還元

■2023年度の中間配当の実績

2023年度の上半期業績が堅調であったことから、中間配当は期初の予想のとおり、1株あたり24円と致しました。

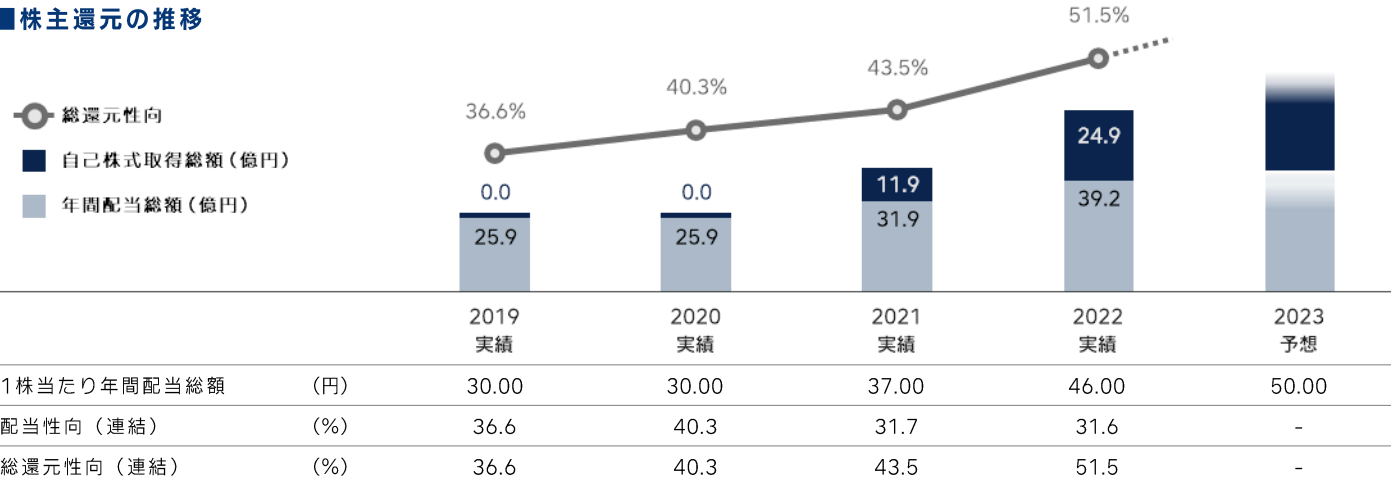
■2023年度の期末配当の予想

2023年度の期末配当につきましては、事業動向を鑑みて、期初の配当予想から2円増配の、1株あたり26円と予想しております。これにより、年間配当総額は1株当たり50円になる見通しです。

■2023年度の自己株式の取得状況

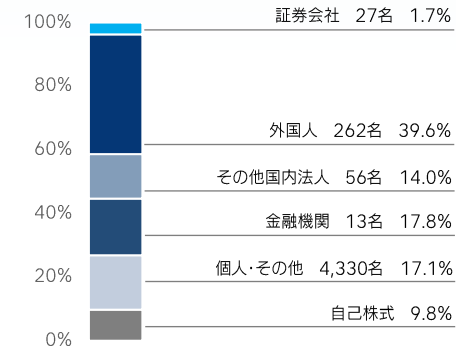
中期経営計画「NV2025+」で掲げる株主還元方針「総還元性向50%」の実践に向け、2023年度においては1株当たりの年間配当総額を前期比4円増配の50円としたほか、自己株式取得を進めています。現時点では2月9日公表分（3月20日取得完了：合計180,600株・499百万円）および8月7日公表分（10月1日以降取得開始予定：上限1,000,000株・2,500百万円）となっております。

■株主還元の推移



株式の状況 (2023年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 375,000,000株
- 発行済株式の総数 94,259,400株
- 株主数 4,689名
- 株式分布状況



■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,095千株	7.2%
株式会社日本カストアイ銀行 (信託口)	5,322千株	6.3%
中西千代	4,562千株	5.4%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.3%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,175千株	3.7%
中西英一	3,164千株	3.7%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	3,157千株	3.7%
中西賢介	3,156千株	3.7%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.7%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,021千株	3.6%

* 当社は自己株式を9,282千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
* 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

会社概要 (2023年6月30日現在)

会社名 株式会社ナカニシ
 設立 1951年2月
 代表者 代表取締役社長執行役員 中西英一
 資本金 867百万円
 従業員数 連結 1,571名 単体 1,060名
 本社 栃木県鹿沼市下日向700
 事業所 本社・A1工場・A1+工場
 東京事務所・大阪事務所・名古屋事務所
 グループ会社 NSK America (米国)
 NSK Europe (ドイツ)
 NSK France (フランス)
 NSK United Kingdom (イギリス)
 NSK Dental Spain (スペイン)
 NSK Oceania (オーストラリア)
 NSK Shanghai (中国)
 NSK Dental Italy (イタリア)
 NSK Dental Korea (韓国)
 NSK America Latina (ブラジル)
 NSK Dental Nordic (スウェーデン)
 NSK RUS (ロシア)
 Alfred Jäger (ドイツ)

役員
 代表取締役社長執行役員 中西英一
 代表取締役副社長執行役員 中西賢介
 取締役専務執行役員 鈴木正孝
 社外取締役 野長瀬裕二
 社外取締役 荒木由季子
 社外取締役 汐見千佳
 社外監査役 (常勤) 豊玉英樹
 社外監査役 澤田雄二
 社外監査役 馬来義弘

執行役員
 社長執行役員 CEO 中西英一
 副社長執行役員 COO 中西賢介
 専務執行役員 鈴木正孝
 執行役員 CFO 鈴木大介
 執行役員 有賀浩一
 執行役員 田中章雄
 執行役員 永沼司
 執行役員 宮本幸次